

SDGs新聞

日新火災海上保険株式会社

みんなで支える！「もしも」の保険

SDGsラジオを読んでみよう！

困ったときに助けてもらったり、困っている人に声をかけたりしたことはありますか？
転んだときに声をかけてもらったり、忘れものを貸してくれたり、誰かに助けてもらうと、ほっとしますよね。
実は、私たちの社会にも困った人をみんなで支えるしくみがあります。それが「保険」です。
保険は、多くの人が少しずつお金を出し合い、事故や災害などで困った人を支える、助け合いのしくみです。
その中でも、大切なモノがこわれたり、人のモノをこわしてしまったりしたときに
みんなが出し合ったお金で、困っている人を支える保険が「損害保険」です。
保険会社の「日新火災海上保険」も、この「損害保険」を通して、人々が安心して毎日をすごせるように、社会を支えているんですよ。
ひとりでは大きすぎる困りごとも、みんなで少しずつ支え合えば、乗りこえることができます。
まずはみなさんも、困っている人がいたら声をかけることから始めてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：くらしの中にあるケンのイメージ

私たちのくらしの中には、交通事故や火災、地震や台風など、いつ起こるかわからないケンがいっぱいあります。事故や災害が起きると、家や自動車といった大切なモノがこわれ、直すためにたくさんのお金が必要になることもあります。
そんな困ったときに備えるものが「保険」です。保険は、みんなが少しずつお金を出し合い、事故や災害で困った人を支えるしくみです。中でも、事故や災害でモノがこわれたときや、人のモノをこわしてしまったり、けがをさせてしまったりしたときに備える保険を「損害保険」といいます。



画像参照：損害保険のイメージ

保険会社の「日新火災海上保険」は、人々が安心して毎日をすごせるように、損害保険を通して社会を支えています。たとえば、くらしの中にあるいろんな「もしも」に備えられるよう、損害保険には火災保険や自動車保険、地震保険など、さまざまな種類の保険があります。これらの損害保険には、わたしたちのくらしだけではなく、はたらく人のけがや、建物や仕事で使うものがこわれることなど、会社の「もしも」に備えるものもあります。さらに、ドローンの事故や、インターネットで起こる被害など、新しいケンに備える損害保険も生まれています。このように損害保険は、時代の変化に合わせて進化もしながら、さまざまな「もしも」に備える助け合いのしくみとして、安心してらせる社会を支えています。

☑ キーワード

損害保険のしくみ

保険に入っている人がふだんから「保険料」というお金をはらい、事故や災害が起きたときに保険会社へ連絡し、決まりにそって「保険金」が支払はられるしくみです。

災害

地震や台風、津波などで人がけがをするほか、建物や道などがこわれてしまうなどの被害が出ることです。ふだんの生活ができなくなることがあります。

ドローン

リモコンやコンピューターを動かして空を飛ぶ、小さな飛行機のようなものです。写真を撮ったり、荷物を運んだり、建物を調べたりするために使われます。

☑ 対象ゴール



みなさんにできること！

困っている人がいたら、まずは声をかけることから助け合いをはじめてみましょう。

おさらい

- 保険は、多くの人がお金を出し合い、事故や災害で困った人を支えるしくみ。
- 損害保険は、モノがこわれたときや、人のモノをこわしたり、けがをさせたりしたときに備える保険。
- 日新火災海上保険には、くらしや会社の「もしも」、新しいケンに備えるさまざまな損害保険がある。

メモ

